

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		感染症対策事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	020102000332
				単独/補助	単独		040401
政策体系		政策体系上の位置付け		主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0201 健康づくりの推進		市長マニフェスト		健康推進課	
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり		未来PJ事業		グループ	
施策名		01 健康づくりの推進		合併建設計画事業		健康づくり	
基本事業名		01 健康診査等の充実		合併建設計画事業		健康づくり	
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目		会計 款 項 目 事業 細		一般会計		単年度繰返し (年度~)	
01 04 01 02 01 01				予防総務事業		← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		感染症法、予防接種法					

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>感染症法に基づき、各種感染症対策を実施する。疾病の発生予防とまん延を防止し、公衆衛生の向上に寄与する。</p> <p>【手段】          新型インフルエンザ等対策行動計画や各種感染症対策マニュアルを整備する。行動計画やマニュアル等を関係機関や市民に周知し、感染防止対策や感染症情報を提供する。感染症が発生した場合は、感染拡大防止策 (情報提供、消毒、予防接種) を講じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種感染症対策マニュアルの整理 (季節性インフルエンザ、感染性胃腸炎、食中毒、消毒方法)</li> <li>新型インフルエンザ等対策行動計画の策定。課及び部内会議の実施、新型インフルエンザ等対策幹事会の開催。行動計画策定に伴う庁議及びパブコメ実施</li> <li>学校欠席者情報システム、感染症流行情報サーベイランスの実施、流行状況の確認。</li> <li>水災害等による床上床下浸水等により家屋消毒が必要な場合、生活安全課と協力し家屋消毒を実施した。</li> <li>防疫作業に関わる県への実績報告及び補助金を申請する。</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種感染症対策マニュアルの整理 (季節性インフルエンザ、感染性胃腸炎、食中毒、消毒方法) 新型インフルエンザ等対策幹事会の開催。広報、ホームページ等にて、感染症予防対策を啓蒙。</li> </ul>	広報活動件数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	消毒等の防疫活動	回	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民	人口	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民が自ら感染予防対策を実施し、感染症の予防及び集団発生を防ぐ。感染症予防対策により、市民が感染症による重篤者および死亡者がなくなる。	感染症の集団発生件数 (学級閉鎖等)	クラスター	39.00	21.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	9	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	39	17	0	0	0
	事業費計 (A)	0	48	17	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	205.00	516.00	220.00	200.00	200.00	
	人件費計 (B)	千円	595	1,497	638	580	592	
トータルコスト (A) + (B)			千円	595	1,545	655	580	592

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)		29年度事業費 予算 (千円)	
	07 賃金	11 需用費	11 需用費	
	8		17	
	40			
	合計	48	合計	17

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	感染症対策事業	事務事業No.	20102000332	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 感染症予防対策は、季節により流行する疾患が異なるため随時実施している。ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症の教育現場や社会福祉施設における集団感染が問題となっている。厚生労働省は各種マニュアルの制定やポスターなど媒体を作成し予防対策に力を入れている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 感染症発生時、流行情報や予防対策についての問い合わせがある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 保育所や小中学校現場の従事者との危機管理意識の共有。統一したマニュアル等の検討
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 政策「健康づくりの推進」に合致する。
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の安心安全の確保のため、国の感染症法に基づき実施しており統合性がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 衛生環境の向上で感染症は減る。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 感染症法に基づく事業である。廃止・休止した場合は、感染症の発生やまん延が懸念される。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 感染症まん延時には、一時的な人員の確保が必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としているため、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 水害時の床上浸水した家屋に対し、消毒作業を実施した。インフルエンザによる学級・学年閉鎖について学校教育課及び児童福祉課等と情報共有した。 また、新型インフルエンザ等対策として住民接種シミュレーションを福祉部及び医師会と連携し実施した。今年度の訓練を基に、更なる実効性を高めるために住民接種マニュアル策定を検討する必要がある。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 水害等の消毒作業には一定の人員が必要不可欠。 新型インフルエンザ対策について、全庁的な対応が必要となる。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---